

株主メモ Shareholder Information

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

公告方法 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人および特別口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

各種お問い合わせ先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

単元株式数 1,000株

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

お知らせ

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ホームページのご案内

<http://www.chuetsu-pulp.co.jp/>

当社ホームページに最新トピックスのほか、IR情報を随時発信し、ご提供しております。



用紙

国産の竹を原料とした紙「竹紙 100 ナチュラル100g/m²」を使用しております。



表紙

室堂の雷鳥

中越パルプ工業株式会社

証券コード:3877


Chuetsu Pulp & Paper Co., Ltd.

株主の皆様へ
「ひと・もの・心」を大切に



中越パルプ工業株式会社

東京本社 東京都中央区銀座2-10-6 Tel 03-3544-1524
高岡本社 富山県高岡市米島282 Tel 0766-26-2401



経営理念 Management Concept

私達中越パルプ工業グループは、グローバル化していく経済環境の中で、永続的に発展していくため、ひたむきに人を大切にしたものづくりに努め、国際競争を勝ち抜く強い企業創りを目指します。

一、愛され信頼される企業に

コンプライアンスに徹し真摯で誠実な企業活動を基本とし、品質を第一に弛まざる技術革新により常に顧客満足を希求するとともに、地域社会との共存共栄を図り、誰からも愛され信頼される企業を目指して努力を続けてまいります。

二、環境と社会に貢献する企業に

私たちは、省資源や省エネルギーの取り組みを継続し、リサイクル資源の有効活用に努め、地球環境に配慮した生産活動を通じて循環型社会の確立、豊かな文化社会の発展に貢献するとともに、社会の様々なニーズに積極的に対応して、安定的により良い製品とサービスを提供します。

三、向上心あふれる働き甲斐のある会社

エネルギーに革新に取り組み、不撓不屈の精神であらゆる困難にも果敢に立ち向かい、会社の明るい未来のために全ての社員が力を合わせ、国際競争を勝ち抜く収益性、健全性を備えた働き甲斐のある会社をつくりまします。

Contents

- 経営理念 1
- ご報告と御礼 / 連結業績推移 2
- トップインタビュー 3
- 特集 川内工場 木質バイオマス燃料発電設備 稼働 5
- セグメントの概要 7
- 連結決算概要 8
- 会社概要 9
- 株式の概況 10



代表取締役社長
かとうあきよし
加藤明美

台風15号の被災にあたり、皆さま方から多大なるご支援を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

平成27年8月25日、南九州に襲来した台風15号の猛威により、当社川内工場におきましては、生産設備に甚大な被害が発生し、操業停止を余儀なくされました。

復旧に向けて懸命な努力をするなか、地域・行政・取引先など多くの皆さまには多大なるご支援をいただき、おかげをもちまして10月初旬に完全復旧し、現在順調に生産活動を行っております。

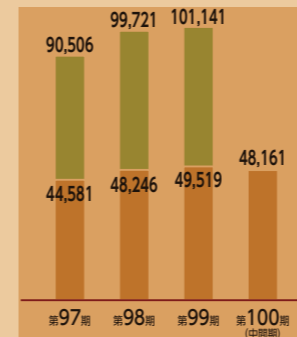
皆さまからいただいた多大なるご厚情に対し、この場をお借りして御礼申し上げます。

連結業績推移

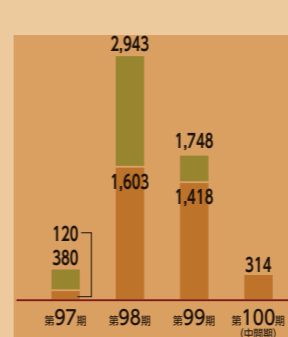
■ 通期 ■ 中間期 (単位:百万円)

Consolidated Financial Highlights

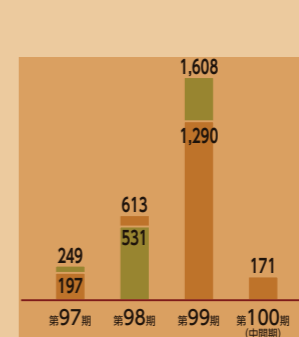
売上高



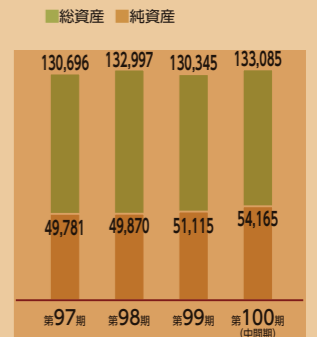
経常利益



純利益



総資産/純資産



企業戦略を着実に実践し「中越パルプ工業グループ」のさらなる発展を目指します。

Q 上半期の状況についてお伺いします。

A 中長期成長戦略プラン「ネクストステージ50」の実現に注力してまいりました。

当上半期は新規需要の開拓、販売価格の復元を継続的課題として取り組むとともに、発電事業ならびにセルロース・ナノファイバーの研究開発の促進など、「ネクストステージ50」の取り組みに注力してまいりましたが、需要低迷に伴う販売の減少や、川内工場の台風被害による減産・減販が収益を圧迫するなど、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高は48,161百万円と前年同期比2.7%の減収となりました。また、経常利益は314百万円と前年同期比77.8%の減益、四半期純利益は171百万円と前年同期比86.7%の減益となりました。

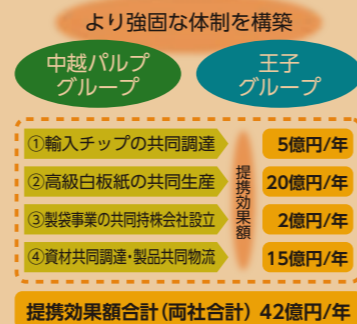
Q 王子ホールディングス株式会社との業務・資本提携についてお聞かせください。

A 当社の持続的な発展のため、王子ホールディングス株式会社との協力関係のもと「ネクストステージ50」の早期実現を目指します。

現在「ネクストステージ50」の着実な実現を図るべく、王子ホールディングス株式会社との協力関係のもと、共同出資会社の設立による収益基盤の構築に着手しております。

1. 輸入チップの共同調達

O&Cファイバートレーディング株式会社を設立。輸入チップ船の共同配船、輸入チップの共同調達、人員最適化による業務効率向上により、輸入チップ調達コストの圧縮を発現しております。



2. 高級白板紙の共同生産

高級白板紙の生産基盤拡大に向けて、O&Cアイボリーボード株式会社を設立。王子製紙株式会社 富岡工場の遊休設備を高級白板紙抄紙機に改造し、両社合計で年間10万tの生産・販売体制の構築を目指してまいります。抄紙機は平成29年春の稼働を予定しております。

3. グループ製袋事業の発展強化

包装用紙分野では、当社グループ6社、王子ホールディングス株式会社グループ7社を傘下とする共同持株会社O&Cペーパーバッグホールディングス株式会社の早期設立に向けて現在取り組んでおります。

王子ホールディングス株式会社との業務・資本提携による収益効果は、共同出資会社の設立に資材共同調達・製品共同物流などの効果を加えて両社で年間42億円を見込んでおります。

Q 「ネクストステージ50」の進捗をお聞かせください。

A ハード面の整備を含め着実に効果を発現しております。

1. エネルギー事業への参入

川内工場木質バイオマス燃料発電設備が、本年11月より営業運転を開始いたしました。エネルギー事業につきましては木質バイオマス燃料発電設備を中心に、安定かつ効率的な操業に注力し、収益確保を目指してまいります。



2. セルロース・ナノファイバーの取り組み

セルロース・ナノファイバーの研究開発につきましては、複合素材分野を主体とした研究開発と新規需要の

開拓に注力するとともに、平成29年の実用化に向けて実証用プラントの整備を進めるなど、早期の事業化を目指してまいります。



セルロース・ナノファイバー配合樹脂 (提供：株式会社タカギセイコー)

Q 株主の皆さまへメッセージをお願いします。

A 「ネクストステージ50」を実現し、株主の皆さまの期待に応える中パを築いてまいります。

「ネクストステージ50」の取り組み開始から2年半が経過し、ソフト面・ハード面での環境整備はほぼ整いつつあります。

設備投資をはじめとする基盤整備が整った案件については、安定操業による収益確保を図るとともに、計画途上の案件についてはさらにスピードを上げて達成し、経営目標である連結売上高1,100億円、連結経常利益55億円の確保を目指してまいります。

株主の皆さまの期待に応えるべく、当社グループは持続的な発展に向けて不断の努力を続けてまいりますので、より一層のご理解と、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

川内工場 木質バイオマス燃料発電設備 稼働

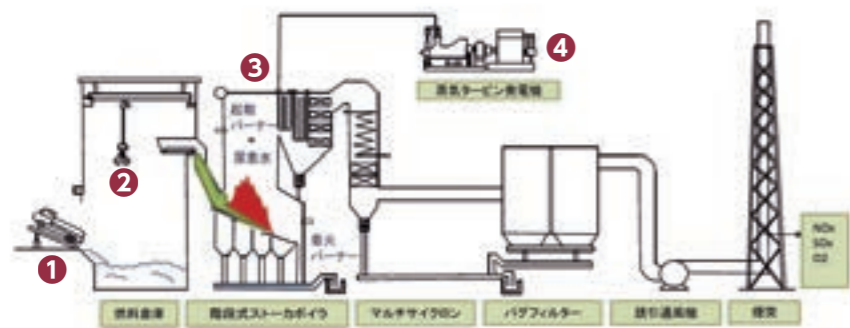
「ネクストステージ50」における新規事業として取り組んでまいりました、川内工場木質バイオマス燃料発電設備が、平成27年11月より営業運転を開始いたしました。

川内工場は南九州における豊富な森林資源を活用し、長年に亘り紙の生産を行ってまいりました。

そのノウハウをいかし、森林資源のさらなる活用を図るため、木質バイオマス燃料発電設備を設置いたしました。



それでは発電設備をご案内いたします。



①木質バイオマス燃料の受け入れ
一日あたり約900t(トラック約40台分)の木質バイオマス燃料を受け入れます。



②燃料貯蔵設備
受け入れた木質バイオマス燃料は、大型クレーンでボイラ設備へ搬送します。



③ボイラ設備
木質バイオマス燃料を燃やし、発電のための蒸気を発生します。



④タービン設備
ボイラで発生した蒸気を利用して、発電を行います。

ポイント
1

国内最大規模の木質バイオマス燃料発電設備です。

日本における再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT)の導入を機に、当社の新規事業として、木質バイオマス燃料発電設備を建設・稼働しました。年間の発電量は154GWhで一般家庭4万3千戸が消費する電力を発電することが可能です。国内で稼働している間伐材などの未利用材を使用する発電設備としては、最大級の規模を有しています。

ポイント
2

二酸化炭素排出量“ゼロ”のクリーンな発電です。

木質バイオマス燃料による発電はカーボンニュートラル^(注)であり、燃焼過程で発生する二酸化炭素は、木材が成長過程で吸収する成分に由来するもので、大気中の二酸化炭素の増減に影響を与えないことが最大の特徴です。

(注)カーボンニュートラルとは

植物は光合成により、二酸化炭素の炭素原子を取り込み成長します。そのため植物を燃やして二酸化炭素を発生させても、もとは植物が体内に取り込んだものであるため、大気中の二酸化炭素の増減に影響を与えないという考え方で、これをカーボンニュートラルといいます。

ポイント
3

森林環境、地域経済に貢献します。

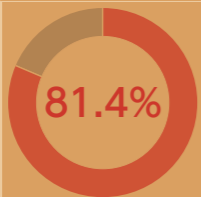
燃料となる木材は間伐材などの未利用材が主体です。間伐材の利用促進は、森林の保全、生物多様性など森林環境の保全に大きく貢献します。また、森林が適正に管理されることで森林価値が向上するなど、地域経済の発展にも寄与します。

セグメントの概要

Overview of Segment



●紙・パルプ製造事業

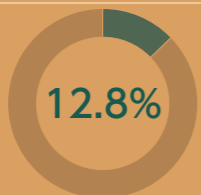


連結売上高 **39,214百万円** (前年同期比 2.3%減) 連結営業損失 **200百万円** (前年同期は725百万円の連結営業利益)

国内需要の低迷により紙の販売数量が減少するなか、販売価格の復元やコスト削減などに努めましたが、販売数量の減少、原料価格・資材価格の高騰に加え、川内工場の台風被害による減産・減販などの影響により大幅な減益となりました。



●紙加工品製造事業

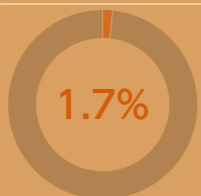


連結売上高 **6,174百万円** (前年同期比 1.9%減) 連結営業利益 **93百万円** (前年同期比 64.9%増)

国内需要が低迷したことにより減収となりましたが、固定費の圧縮などコスト削減に努めた結果、増益となりました。



●発電事業

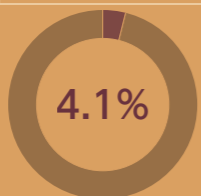


連結売上高 **799百万円** (前年同期比 8.0%減) 連結営業利益 **270百万円** (前年同期比 13.3%減)

二塚製造部における発電コストの増加に伴い、前年同期比で減収減益となりました。



●その他の事業



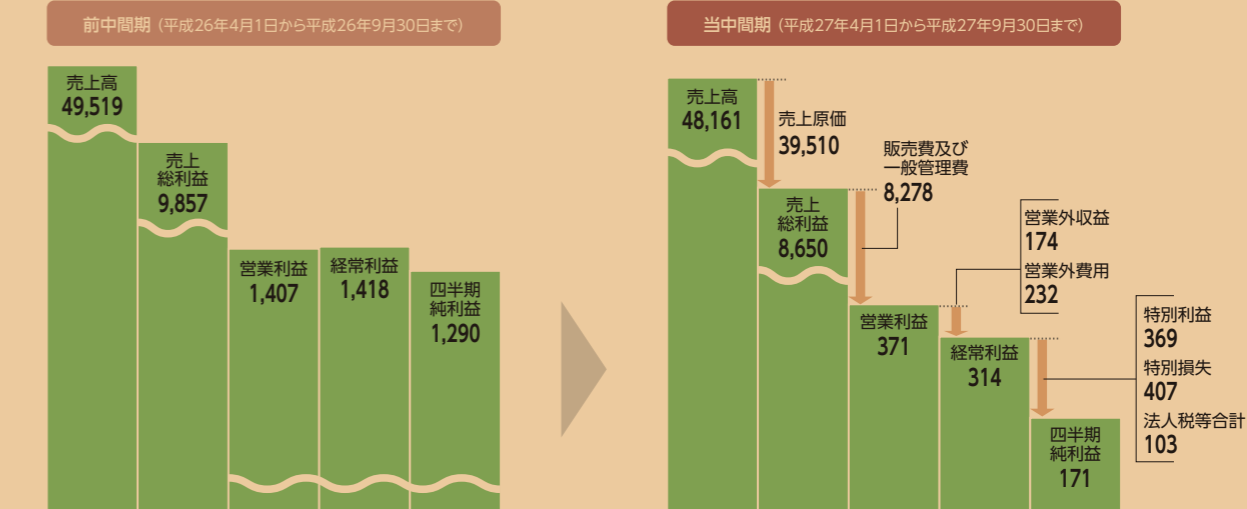
連結売上高 **1,972百万円** (前年同期比 10.2%減) 連結営業利益 **175百万円** (前年同期比 36.7%減)

紙断裁選別包装・運送事業につきましては、工場の停止による生産・出荷数量の減少などの影響により減収減益となりました。

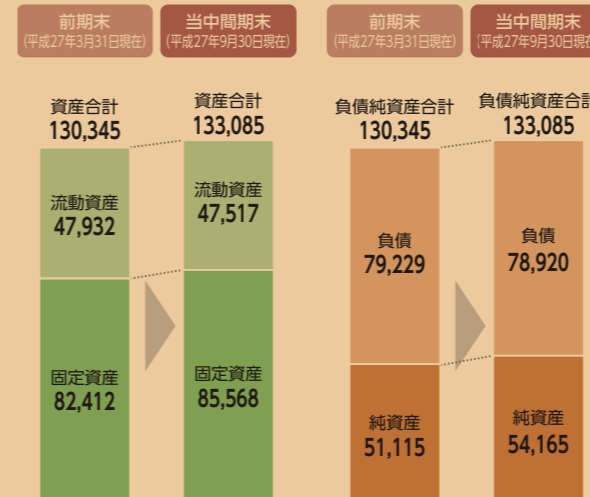
連結決算概要

Summary of Consolidated Results

●連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



●連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



●連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)

科目	前中間期 (平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)	当中間期 (平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,202	3,232
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,910	△6,423
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,180	2,964
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,849	△226
現金及び現金同等物の期首残高	10,410	5,782
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,560	5,555

会社概要

Company Information

会社概要 (平成27年9月30日現在)

商号 中越パルプ工業株式会社
 本店所在地 東京都中央区銀座二丁目10番6号
 創業 昭和22年2月
 資本金 18,864百万円
 グループ従業員 1,670名
 主要な事業内容 ◎パルプ・印刷用紙・新聞用紙・包装用紙・特殊紙・高級板紙および古紙入り再生紙、竹紙等の製造ならびに販売
 事業所 東京本社 高岡本社
 大阪営業支社 福岡営業所
 名古屋営業所 北陸営業所
 川内工場 高岡工場
 生産本部 二塚製造部

グループ概要 (平成27年9月30日現在)

紙・パルプ製造事業 三善製紙株式会社
 紙加工品製造事業 中越パッケージ株式会社
 株式会社文運堂
 その他の事業 中越緑化株式会社
 中越物産株式会社
 中越ロジスティクス株式会社
 中越テクノ株式会社
 共友商事株式会社
 その他関係会社 中部紙工株式会社
 中越パルプ木材株式会社
 中央紙工株式会社
 九州紙管株式会社
 石川紙工株式会社
 東北中部紙工株式会社
 有限会社南薩緑化センター
 Japan Paper Technology (VN) Co., Ltd.
 Japan Paper Technology Dong Nai (VN) Co., Ltd.
 O&Cアイポリーボード株式会社
 O&Cファイバートレーディング株式会社
 エヌシー共同開発株式会社
 王子製袋(青島)有限公司
 New Zealand Plantation Forest Co., Ltd.
 Acacia Afforestation Asia Co., Ltd.

役員 (平成27年9月30日現在)

取締役(兼執行役員)・監査役
 代表取締役社長 加藤 明 美
 専務取締役 姥島 文 夫
 常務取締役 植松 久
 取締役 古田 清 隆
 取締役 高岸 伸
 取締役 楠原 勝 市
 常任監査役(常勤) 小林 敬
 監査役(社外) 杉島 光 一
 監査役(社外) 山口 敏 彦

株式の概況

Stock Information

株式の状況 (平成27年9月30日現在)

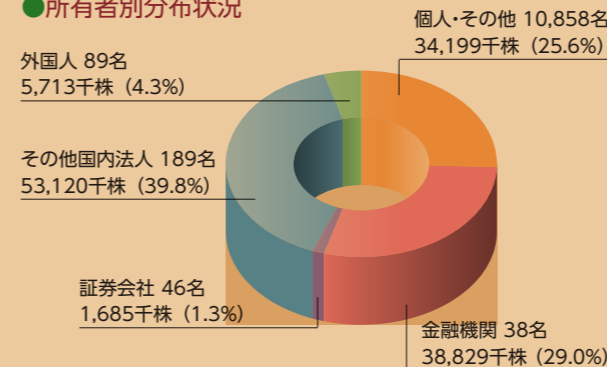
発行可能株式総数 450,000,000株
 発行済株式の総数 133,546,883株
 株主数 11,220名

●大株主の構成

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
王子ホールディングス株式会社	27,539	20.62
日本紙パルプ商事株式会社	7,106	5.32
株式会社北陸銀行	5,735	4.29
新生紙パルプ商事株式会社	5,648	4.22
国際紙パルプ商事株式会社	5,341	3.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,375	3.27
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	4,029	3.01
株式会社みずほ銀行	4,013	3.00
農林中央金庫	4,013	3.00
三井住友海上火災保険株式会社	2,364	1.77

(注)千株未満は切り捨てて表示しております。

●所有者別分布状況



第99期定時株主総会における 議決権行使の集計結果に関するお知らせ

1. 議決権の状況

議決権を有する株主数 8,797名
 議決権の数 116,106個

2. 議決権行使状況

	株主総会前日 までの議決権行使 (事前行使)	株主総会 当日出席による 議決権行使	議決権行使 合計
株主数	2,836名	106名	2,942名
議決権行使個数	75,155個	12,322個	87,477個
行使率	64.7%	10.6%	75.3%

3. 議決権行使結果

	賛成数	反対数	棄権数	賛成比率
第1号議案 剰余金の処分の件	85,564個	190個	0個	97.79%
第2号議案 取締役6名選任の件				
①加藤 明美	64,690個	21,041個	0個	73.95%
②姥島 文夫	83,235個	2,496個	0個	95.15%
③植松 久	85,094個	637個	0個	97.27%
④古田 清隆	83,234個	2,497個	0個	95.15%
⑤高岸 伸	83,229個	2,502個	0個	95.14%
⑥楠原 勝市	85,123個	608個	0個	97.31%
第3号議案 監査役3名選任の件				
①小林 敬	85,508個	222個	0個	97.75%
②杉島 光一	85,552個	178個	0個	97.80%
③山口 敏彦	85,551個	179個	0個	97.80%

賛成数は、事前行使における賛成数と当日出席株主から各議案の賛否に関して確認できた賛成数を合計したものです。